

# 施策評価管理シート

2012(平成24)年7月作成

担当部局名	部長名	連絡先 (担当室名)
教育委員会	中野 伸宏	63 - 7892 (文化生涯学習室)

施策体系	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本施策	3	市民文化の創造
	施策	1	<b>市民文化</b>

## 1. 施策の基本方針

Plan

- ・「名張らしさ」が息づく魅力ある市民文化を育み、心豊かな交流が広がる質の高い暮らしを創造します。
- ・「能楽のふるさとづくり」を目指し、伝統文化の伝承・発展や自主的な文化活動を積極的な支援と、人材の発掘や育成に努めます。
- ・名張の文化を積極的に発信するとともに、全国の多様な地域との豊かな文化交流に努めます。

## 2. 目標

重点目標

Plan

- ・市内唯一の本格的ホールであるアドバンスコープA D Sホール(青少年センター)の更なる利活用を図るため、次年度以降も指定管理者による運営を行っていきます。
- ・市民文化の発表の場としての美術展覧会の参加促進を図るため、昨年度の状況を踏まえ搬出時間を早め出展者の利便性を向上させます。
- ・アドバンスコープA D Sホール、名張藤堂家邸跡、夏見廃寺展示館については施設の老朽化が進んでいることから、計画的に修繕を行うこととし、緊急性の高いものから予算の確保に努めます。

目標達成に向けた課題

Plan

美術展覧会の出展者の参加を促すため昨年度の反省結果を踏まえ募集要項を見直します。アドバンスコープA D Sホール、名張藤堂家邸跡、夏見廃寺展示館は建設されてから年月がたっており老朽化が目立っています。消防設備点検等で指摘されたものについては法令を順守した早急な対応が必要となります。

施策指標(目標)及び達成状況

Plan

Do

施策指標(目標)の内容 (単位)		現状値 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2015 (H27)	進捗率
1年間に1回以上、文化・芸術を鑑賞したことがある市民の割合 (%)	目標	-	-	-	-	53.0	54.0	
	成果	49.6	54.2	51.5	49.4			0%
美術展覧会出展数【延べ値】 (点)	目標	-	-	-	-	1,172	1,892	
	成果	230	433	633	841			37%
青少年センター、名張藤堂家邸跡、夏見廃寺展示館の入場利用者数【延べ値】 (人)	目標	-	-	-	-	222,000	360,000	
	成果	44,288	79,295	122,608	163,144			38%

## 3. 取組内容

課題解決への取組内容

Do

- ・美術展覧会の出展者の参加を促すため、昨年度の反省結果を踏まえ募集要項を見直して、出展者の利便性が向上するようにします。
- ・文化財施設の利活用を促進するため、市民団体や地域づくり委員会と連携して新たなシンボルを創生してまいります。

地域等との連携、協働に向けた取組

Do

- ・美術展覧会は、広く市民の方に応募していただくため、地区公民館等に募集要項の配布を依頼しています。
- ・文化財施設の利活用促進には、学校等に呼びかけ社会見学等で施設を利用していただくよう案内し、名張の文化を情報発信します。

## 4. 施策達成のための事務事業及び評価

(合計 8 事業)

Do

Check

事務事業シート番号	事業名・担当室名		事業費 (単位：千円)		事務事業シートでの今後の方向	施策達成への貢献度	施策達成への重要度
			2010 (H22)	2011 (H23)			
1162	おきつもの名張・文化顕彰事業	文化生涯学習室	217	450	継続(事務改善)	B	B
1163	ふるさと能文化振興事業	文化生涯学習室	4,185	4,397	継続(事務改善)	B	B
1166	美術展覧会経費	文化生涯学習室	1,173	1,235	継続(事務改善)	B	B
4080	青少年センター受電設備等改修事業	文化生涯学習室	-	5,051	H23完了	B	B
5042	旧市民・観阿弥公園施設管理費	文化生涯学習室	2,242	2,125	継続(事務改善)	B	B
5043	文化財施設管理費	文化生涯学習室	2,444	2,433	継続(事務改善)	B	B
5048	青少年センター管理費	文化生涯学習室	27,428	28,981	継続(事務改善)	B	B
6118	文化振興費	文化生涯学習室	774	723	継続(事務改善)	B	B
合計(単位：千円)			38,463	45,395			
小計(うち、一般会計分)			38,463	45,395			
小計(うち、特別会計・企業会計・組合会計分)			0	0			

## 5. 部局による施策評価

Check

評価
事業推進の一部改善
成果・評価理由
美術展覧会については、公平な審査を担保するため、審査員を市外から迎えるとともに、任期を設けていきました。文化財施設の利活用促進は、十分な成果を得ていませんが、引き続き行ってまいります。

## 6. 今後の施策の方向性、改善方法

Action

美術展覧会は、審査が行われる展覧会であることから、出品者の更なるレベル向上など満足度を上げることと、全国展への足がかりとなるような方策を提案いたします。文化財施設の利活用は、各種団体との連携や、更なる情報発信に努めていきます。
---

## 7. 総合評価

評価
C 施策達成に向けた取組や今後の施策展開が適切に行われているものの、いくつかの課題、改善の余地が見受けられる
評価理由及びその他(意見)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の形骸化、事業及び施設管理のあり方について検証が必要である。</li> <li>・美術展覧会以外の施策展開が必要である。</li> <li>・新たなシンボル創生の具体策(案)はどこまであるのか。また、市美術展入賞作品の地域での移動展示等で、より身近にできないか検討する必要がある。</li> </ul>